



証券コード: 7774



第11期(平成21年3月期)

第1四半期 決算説明資料

平成20年8月12日

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

<http://www.jppte.co.jp>

目次

❖ 事業概要	---	2
❖ 第11期 第1四半期の業績・予想	---	7



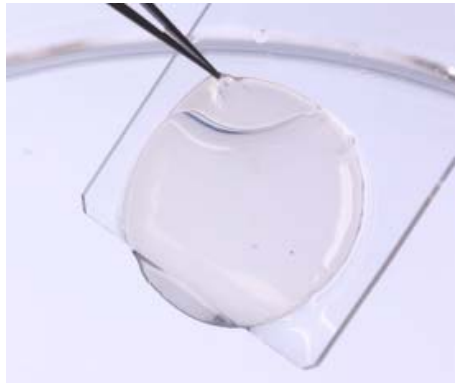
事業概要

再生医療製品事業

自家培養表皮

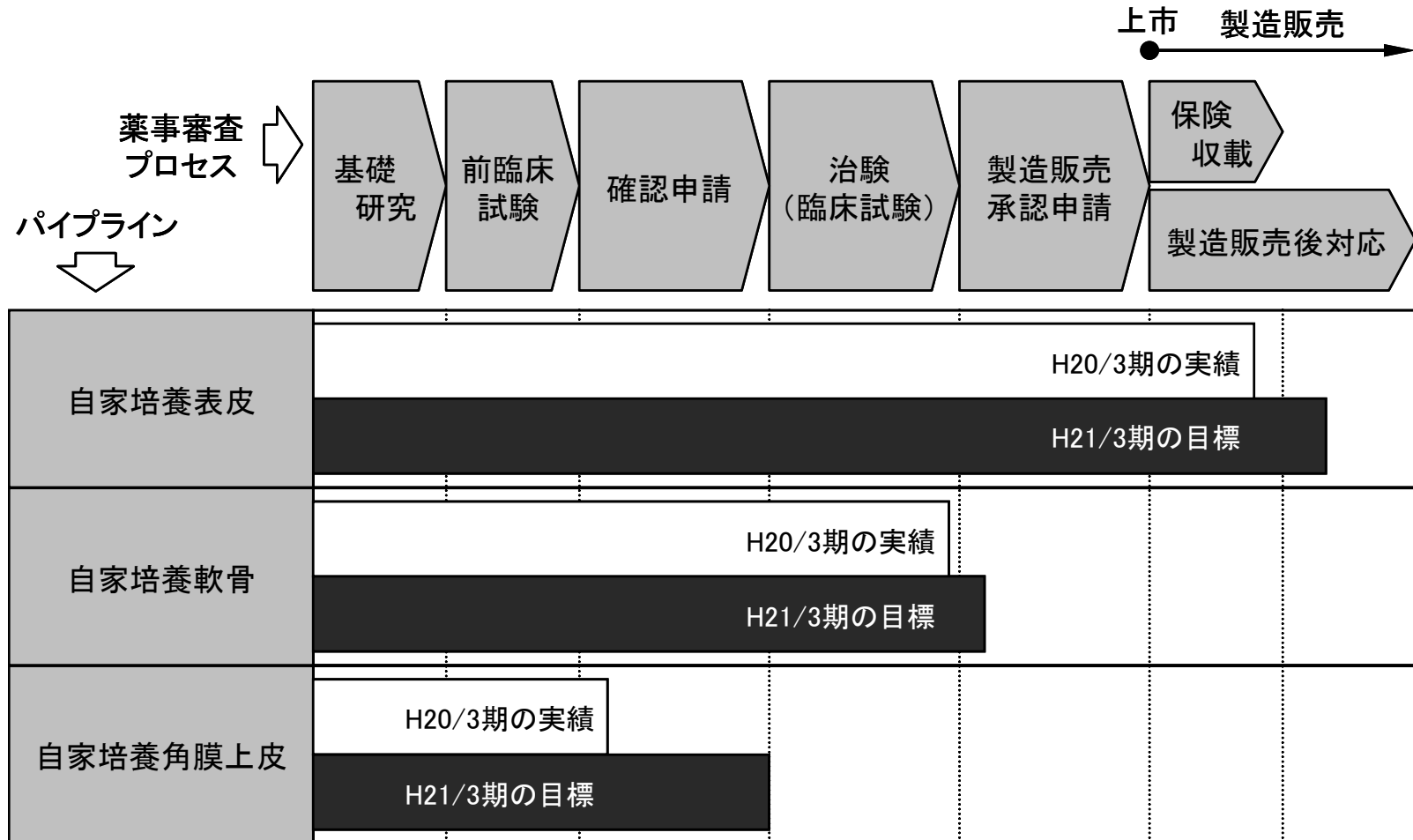
自家培養軟骨

自家培養角膜上皮

<p>開発製品の 外観</p>			
<p>基礎研究 を主導した 協働者</p>	<p>名古屋大学 上田 実 教授、 米ハーバード大学 Howard Green 教授</p>	<p>広島大学 越智 光夫 教授</p>	<p>伊ベネトアイバンク、 伊モデナ大学 Michele De Luca 博士 Graziella Pellegrini 博士</p>
<p>適応疾患 (軟骨と角膜 上皮は想定)</p>	<p>重症熱傷 (深達性Ⅱ度熱傷創及び Ⅲ度熱傷創の合計面積が 体表面積の30%以上)</p>	<p>外傷性軟骨欠損症、 離断性骨軟骨炎、 変形性関節症</p>	<p>化学傷、熱傷、スティーブ ンス・ジョンソン症候群、眼 類天疱瘡、角膜感染症、 再発翼状片</p>
<p>進捗状況</p>	<p>製造承認を取得 (H19.10)</p>	<p>治験終了届書(H19.3) 製造販売承認申請の準備中</p>	<p>確認申請の提出 (H19.5)</p>

平成21年3月期の開発計画

❖ 3つのパイプラインにおいて、主要なイベントを迎える予定である。



出所) マイルストーン開示に係る事業計画について(平成21年3月期～平成23年3月期)(平成20年5月28日開示)

ジェイス保険収載と製造販売後対応

- ❖ 自家培養表皮ジェイスの保険適用に関する協議の過程において、当社は、厚生労働省から追加資料の提出を平成20年6月に求められた。結果として、当社は数症例の重症熱傷患者の治療にジェイスを提供することを決定した。



製造承認：平成19年10月

同時進行

保険収載

- 平成19年11月に保険適用希望書を厚生労働省に提出した。
- 平成20年8月時点においても協議が継続している。
【実態】ジェイスは先進的な製品であるために、製品価格に関する議論を含めて、様々な角度から時間をかけて討議されている。
- 数症例の重症熱傷患者の治療にジェイスを提供し必要なデータを収集するために、医療機関と調整を行なった。

製造販売後対応

- ジェイス承認の条件である製造販売後調査等(製造販売後臨床試験ならびに使用成績調査)について(独)医薬品医療機器総合機構が提供する治験相談を受け、平成20年5月、当該相談を完了した。
- ジェイス使用成績等調査実施計画書を、(独)医薬品医療機器総合機構に、平成20年6月、提出・受理されました。
- 製造インフラ整備、販売インフラ整備を展開している。

研究開発支援事業

LabCyte EPI-MODEL12



- ❖ 研究用ヒト培養組織ラボサイトシリーズは、外用医薬品や化粧品の開発時に実施する動物実験を代替する。
- ❖ JaCVAM(日本代替法評価センター)が推進する皮膚刺激性試験のバリデーション試験実施に向け、準備を進めている。(今秋実施予定)

第11期 第1四半期 業績の概況

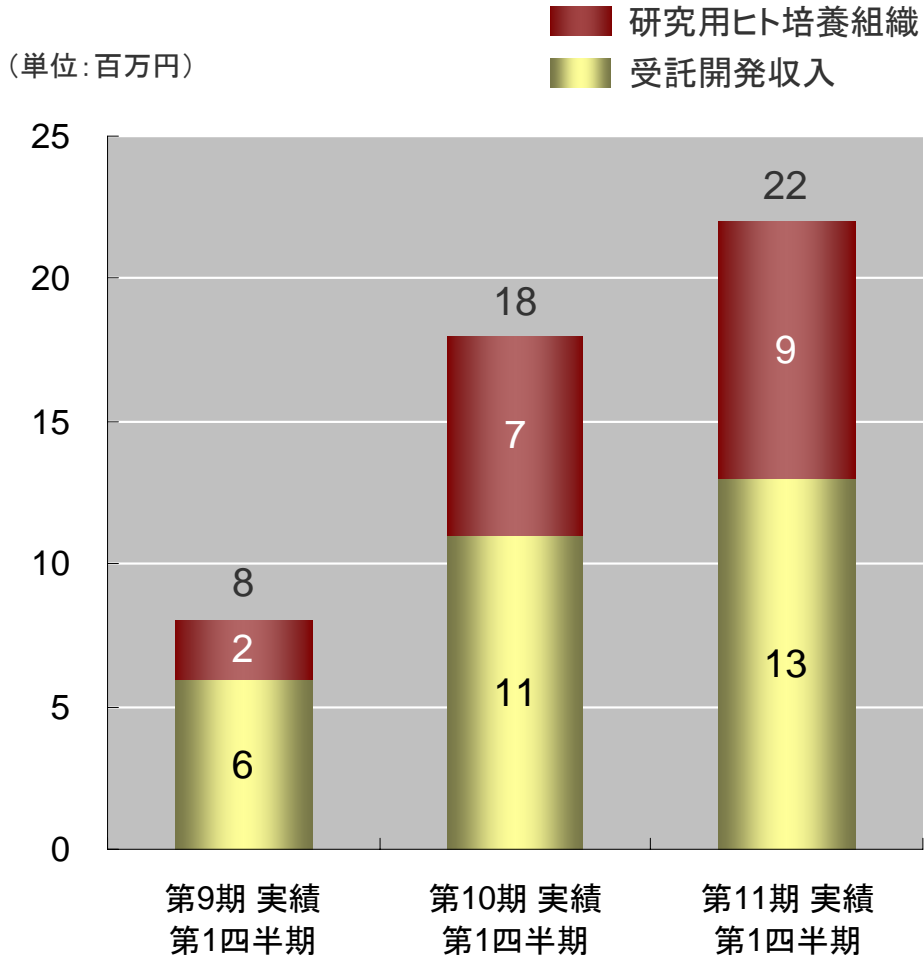
- ❖ 第10期実績に対し、売上高は4百万円増加(前期比+25%)したが、販管費の増加により当期純損失は306百万円となった。
- ❖ 販管費の増加(42百万円)の主な要因は、人件費の増加(16百万円)および研究開発費の増加(13百万円)分である。

(単位:百万円)

	第10期 第1四半期 実績	第11期 第1四半期 実績	第10期比 増減	第11期 通期計画
売上高	18	22	4	321
売上総利益	1	1	0	▲13
販売費及び一般管理費	246	288	42	1,107
営業利益	▲244	▲286	▲42	▲1,121
経常利益	▲253	▲289	▲36	▲1,140
当期(四半期)純利益	▲253	▲306	▲53	▲1,161

※通期計画は2008年5月14日「平成20年3月期決算短信」発表時のもの。

売上推移



【受託開発収入】

- ❖ 受託開発収入は、自家培養角膜上皮の開発受託元である(株)ニデックからのもの。
- ❖ 自家培養角膜上皮は、平成19年5月に治験前の確認申請を厚生労働省に提出し、審査継続中。

【研究用ヒト培養組織】

- ❖ 新規顧客開拓および品質向上を継続的に展開した結果、第10期実績に対して36%増加。(第10期:7百万円→第11期:9百万円)

財務概況

【資産の部】

(単位:百万円)

	第10期 平成20年3月末	第11期 平成20年6月末	増減
流動資産	3,109	2,842	▲267
現金及び預金	3,037	2,775	▲262
その他	72	67	▲5
固定資産	1,195	1,172	▲23
有形固定資産	1,176	1,153	▲23
建物	803	787	▲16
その他	373	366	▲7
無形固定資産	8	8	0
投資その他の資産	11	11	0
繰延資産	23	21	▲2
資産合計	4,327	4,035	▲292

【流動資産】

❖ 営業活動による支出(253百万円)等により、2,842百万円となった。

【固定資産】

❖ 設備投資による増加分(2百万円)と減価償却費による減少分(25百万円)等により、1,172百万円となった。

財務概況

【負債の部】

❖ 人員増に伴う賞与引当金の増加(24百万円)および未払法人税等の減少(▲10百万円)により流動負債が増加した結果、809百万円となった。

【純資産の部】

❖ 四半期純損失(306百万円)により、3,225百万円となった。

【負債の部】

(単位:百万円)

	第10期 平成20年3月末	第11期 平成20年6月末	増減
流動負債	278	290	12
短期借入金	96	96	0
その他	182	194	12
固定負債	516	519	3
負債合計	794	809	15

【純資産の部】

(単位:百万円)

	第10期 平成20年3月末	第11期 平成20年6月末	増減
資本金	5,543	5,543	0
資本剰余金	3,373	3,373	0
利益剰余金	▲5,384	▲5,691	▲306
純資産合計	3,532	3,225	▲306
負債及び純資産合計	4,327	4,035	▲292

キャッシュ・フロー計算書概況

(単位:百万円)

	第10期 通期	第11期 第1四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲981	▲253
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,922	191
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,540	-
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(▲:減少額)	▲1,362	▲61
現金及び現金同等物の期首残高	2,039	676
現金及び現金同等物の期末残高	676	614

- ❖ 営業活動によるCF: 税引前四半期純損失306百万円等により、▲253百万円となった。
- ❖ 投資活動によるCF: 定期預金の払戻による収入(300百万円)及び預入による支出(100百万円)等により、191百万円となった。
- ❖ 現金及び現金同等物の期末残高: 期首残高676百万円に対し、期末残高は614百万円となった。
なお、貸借対照表中の現金及び預金(2,775百万円)との差額は、預入期間が3ヶ月を超える定期預金が含まれていないため。

第11期 業績予想

- ❖ 売上高は、自家培養表皮ジェイスの売上により大幅に増加する予定。本製品の製造および販売にともなう費用も増加する。その結果、損失は増加する見込。

(単位:百万円)

	第10期 通期 実績	第11期 通期 計画	第10期比 増減	第11期 第1四半期 実績
売上高	111	321	210	22
売上総利益	11	▲13	▲24	1
販売費及び一般管理費	1,083	1,107	24	288
営業利益	▲1,071	▲1,121	▲50	▲286
経常利益	▲1,049	▲1,140	▲91	▲289
当期(四半期)純利益	▲1,086	▲1,161	▲75	▲306

※ 自家培養表皮ジェイスの販売価格は当社仮定による。

PIR活動について

- ❖ 当社のIRにおける基本方針は「PIR活動」の推進です。すなわち、当社の企業理念である「再生医療の産業化」の実現のため、株主及び投資家へのIR活動に加え、世論形成を目的としたPR活動も積極的に展開します。
- ❖ 当第1四半期は、昨年12月にジャスダックNEO市場に上場して以来、一般株主の皆様を迎えて初の株主総会および株主懇談会(事業報告)を6月に開催し、あわせて株主通信を送付させていただきました。また、7月には、当社初の海外IR活動をシンガポールにて展開しました。
- ❖ 以下は、平成20年4月1日～平成20年8月上旬の「PIR活動」の一部です。

個人投資家向け会社説明会 5回開催

機関投資家向け会社説明会 83社(重複あり)



本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容(事業計画に関する業績目標も含みますがそれに限られません。)は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

〒443-0022 愛知県蒲郡市三谷北通6-209-1

経営管理部

TEL. 0533-66-2020 FAX. 0533-66-2019

